

改良普及員 池田 義明 外2名

沖縄県視察研修者 吉川 外3名

八重山支庁改良普及員 玉城 正雄

(4) 内容要約

- a. 小川会長より三崎小釣漁業研究会の設立より現在までの経過説明があった。
- b. 試作品である小型自動巻揚機を試験中の船主小笠原徳太郎氏敏丸船主青木敏夫氏よりそれぞれ試験結果の発表があった。
- c. 与那国漁協小島寿和からかじぎ引縄漁法の説明があり、質疑応答が活発に行われた。

ハ 結 果

- (1) 底魚一本釣漁業者を対象に数回に亘り自動巻揚機の試作品の導入について懇談会を開催した。
- (2) 試作品導入について八重山漁協長と協議の結果、普及用として八重山漁協が神奈川県水試から導入することになった。(昭和48年8月23日入荷)

ニ 今後の問題点

小型自動巻揚機を導入普及することによって深海漁場の開発及び揚縄作業が楽になり生産が向上し生活が豊になるのでは是非普及に努力したい。

ただ普及するのに問題になるのは漁民にとって価格(約16万)が高いため直ちに購入することは難しい。

それで機械購入について、沖縄沿岸漁業振興特別資金の貸付及び市町の購入補助等の助成を要望したい。